

ふれあって命の大切さを実感 子育てサロンと小中学校の交流

平成19年度から、丸子地区子育て支援推進委員会が小学生に乳幼児とのふれあいを通し命の大切さを子どもたちに学んでほしいと、地元小学校の総合学習「^{いのち}生命の授業」への協力を始めました。平成23年度からは小杉地区も加わり、令和元年度には13年目の「^{いのち}生命の授業」が行われました。また、丸子地区では平成18年度から、小杉地区、大戸地区では平成19年度から、中学生ボランティアの受け入れに協力しています。

●丸子地区 上丸子小学校 総合学習「^{いのち}生命の授業」 〈児童の声〉

☆子育てサロンでわかったことは、自分もあかしくこういう感じに親に育ててもらったんだなと感じました。お母さんの大変さがわかりました。
☆実際に赤ちゃんに触れ合いながら話を聞いたことは貴重な体験になりました。
☆僕も産んでくれたお母さんやお父さんに感謝したいです。赤ちゃんとお母さんと交流して、改めて命を大切にしたいと感じました。

〈参加したパパ、ママの声〉

☆赤ちゃんを前に小学生の子たちの反応は様々でしたが、みんなとても優しい顔で接してくれました。この子の記憶には残らないかもしれないけど、素敵な思い出になりました。小学生になった時にこの『生命の授業』に参加できたらいいなと思います。

☆小学生は乳幼児のことを勉強して、赤ちゃんにやさしく接してくれ、率先して抱っこしてくれるなど、私自身もとても刺激を受けました。子どもが生まれ、色々な場面に目を向けることが増え、子どものチカラを改めて強く感じました。

●小杉地区 中原中学校 夏休み子育てボランティア体験交流 〈中学生感想〉

赤ちゃんはとてもかわいくて、自然と笑顔になりました。だけど、泣いてしまった赤ちゃんや元気な赤ちゃんを見たり、お母さんのお話をうかがったりしていると赤ちゃんを育てていくのはとても大変だと思いました。

〈ママの感想〉

お兄さんお姉さんに抱っこや遊んでもらって赤ちゃんにとっても良い経験になりました。ふれあい交流で少しでも自分が生まれた時のことや両親に遊んでもらったことを思い出してもらえたら嬉しいです。

〈家庭科 千木良教諭（2020年当時）より〉

毎年、3年生は技術・家庭科「幼児の生活と家族」の授業の一環として子育てサロンで実習させていただいています。机上の学習だけでなく、実際小さな子どもたちと触れ合う事で幼児の成長や命の大切さを学びます。生徒自身いろいろな事を感じて貴重な経験となりました。乳幼児、保護者、スタッフの皆様には生徒への対応、安全に対する配慮を大変な負担をお掛けしますが、実習を気持ちよく引き受けいただき感謝しております

●大戸地区 ～ぬくもりに感動～西中原中学生ボランティア

平成17年より、西中原中学校の生徒が夏休みにサロンに参加。保健師、助産師より事前学習を受けます。赤ちゃんの温もりを感じて、命の尊さを実感してもらい、優しく思いやりのある人に成長してほしいという思いから、迎えています。

嬉しかったことはボランティアで来た生徒さんが大学生になって保育士になるために教育実習等に関わってくれていたことがわかり、貴重な機会として続けていきたいです。



さく：中原区子育て支援
推進実行委員会

え：宇都宮ちゆき